

令和6年度

「女性医師支援・ドクターバンク連携 近畿ブロック会議」

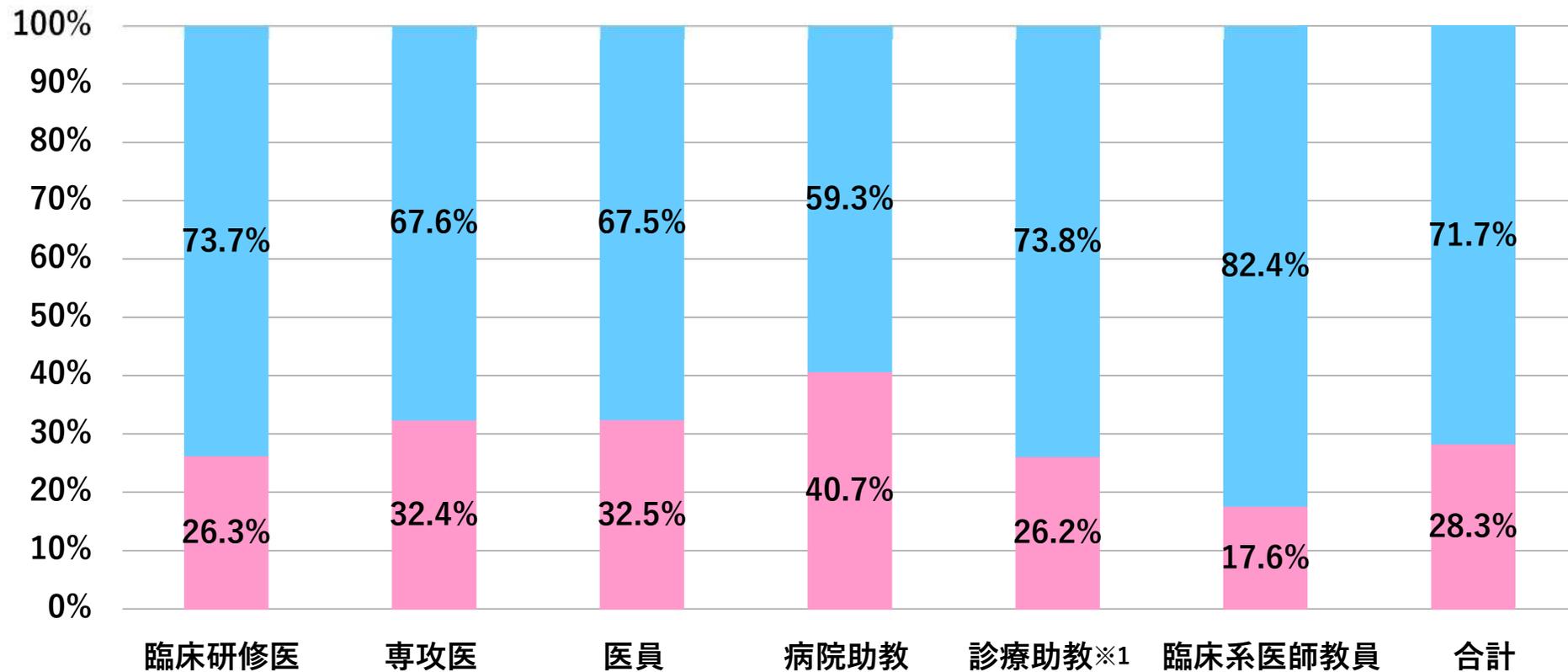
令和6年10月20日

奈良県医師会



“奈良県立医科大学との連携”

奈良県立医科大学附属病院勤務医師の職位別男女比 (令和6年5月1日現在)



■ 男性	42	98	108	83	48	210	589
■ 女性	15	47	52	57	17	45	233
全 体	57	145	160	140	65	255	822

※注1 病院長が選任した専門医取得後の医員

週5日勤務の常勤医師：女性医師233人中165人(70.8%)
男性医師589人中467人(79.3%)

(単位：人)

奈良医大全医師対象のワーク・ライフ・バランスを確保するための制度

- 4週間以内の**変形労働時間制**
- 育児、介護、負傷又は疾病、修学等を理由とする**部分休業及び短時間勤務制度**
- 妊産婦、育児(小学校就学まで)又は介護を行う医師の**深夜勤務の制限、時間外勤務の制限**
- **年次有給休暇**(1時間単位、半日単位で取得可能)
- **夏期休暇**(半日単位で取得可能):週4日以上勤務する医師対象
6月から10月に3日付与し、有給休暇と組み合わせて長期休暇を推奨
- その他特別休暇
 - ・ 負傷又は疾病による最大180日の**療養休暇**の付与
 - ・ **産前産後**有給休暇
 - ・ **小学校6年生までの子の看護休暇**を年に5日付与(2人以上は10日以内)
 - ・ **介護休暇**(年5日付与)
 - ・ **不妊治療のための休暇**(原則年5日)
 - ・ **配偶者出産のための休暇**
- 育児休業及び介護休業 (**男性取得推進**)

奈良県医師会では産業医研修会で「医師の働き方改革」及び「ハラスメント防止」に関する啓発活動実施

【本館】



【新館】



公立大学法人奈良県立医科大学なかよし保育園

年 度	S41～ H23	H24～ H26	H27～	H30.10～
入所定員	18名	60名	90名	150名
施設面積	98.0m ²	450.7m ²	548.9m ²	1068.4m ²

平成27年4月から業務委託開始

他学の保育園

大学名	和歌山県立 医科大学	札幌医科 大学	福島県立 医科大学	名古屋市立 大学	横浜市立 大学	京都府立 医科大学	滋賀医科 大学
入所定員	100名	96名	90名	70名	33名	26名	40名

- **病児保育は本学連携医療機関で実施**

奈良県立医科大学で産休・育休を取得した医師

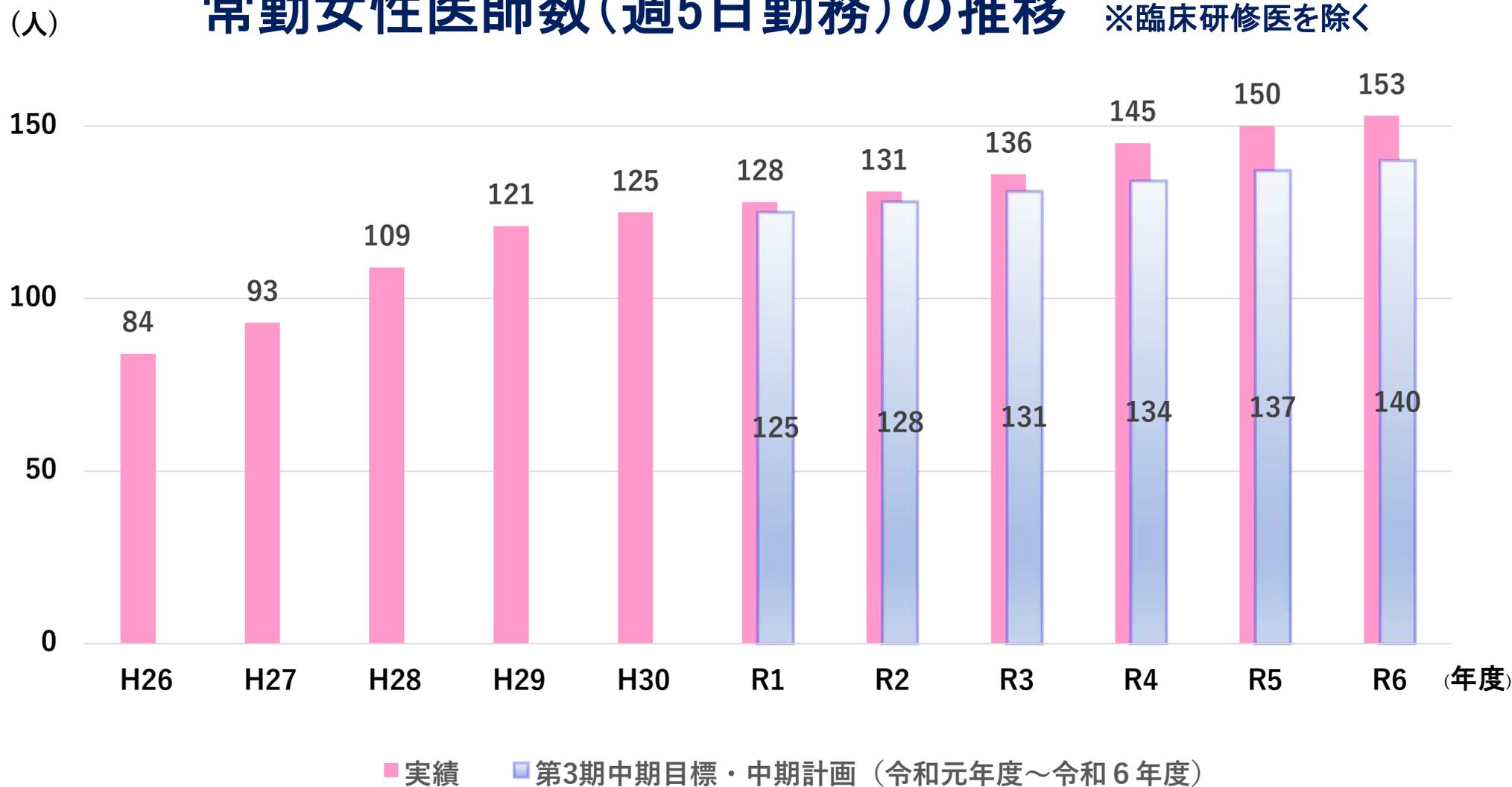
(令和元年から令和6年8月まで)

女性医師	取得人数 (延べ)	取得日数/ 1人あたり (日)	取得月数/ 1人あたり (カ月)
臨床医学教育部門			
皮膚科学	13	497	16.3
産婦人科学	10	263	8.6
麻酔科学	8	258	8.5
糖尿病・内分泌内科学	8	207	6.8
総合医療学	5	337	11.1
小児科学	5	285	9.4
眼科学	5	284	9.3
精神医学	5	271	8.9
循環器内科学	5	212	7.0
呼吸器内科学	4	401	13.2
病理診断学	4	253	8.3
腎臓内科学	4	174	5.7
口腔外科学	3	417	13.7
形成外科	3	297	9.8
放射線診断・IVR学	2	354	11.6
救急医学	2	332	10.9
消化器内科学	2	237	7.8
臨床研修センター	2	186	6.1
脳神経内科学	2	158	5.2
周術期管理センター	2	106	3.5
放射線腫瘍医学	1	420	13.8
総合周産期母子医療センター NICU	1	415	13.7
総合周産期母子医療センター MFICU	1	396	13.0
胸部・心臓血管外科学	1	396	13.0
脳神経外科学	1	393	12.9
血液内科学	1	308	10.1
玉井進記念四肢外傷センター	1	95	3.1
ペインセンター	1	80	2.6
小計	102	299	9.8
基礎医学教育部門			
分子病理学	2	251	8.2
小計	2	251	8.2
総計	104	298	9.8

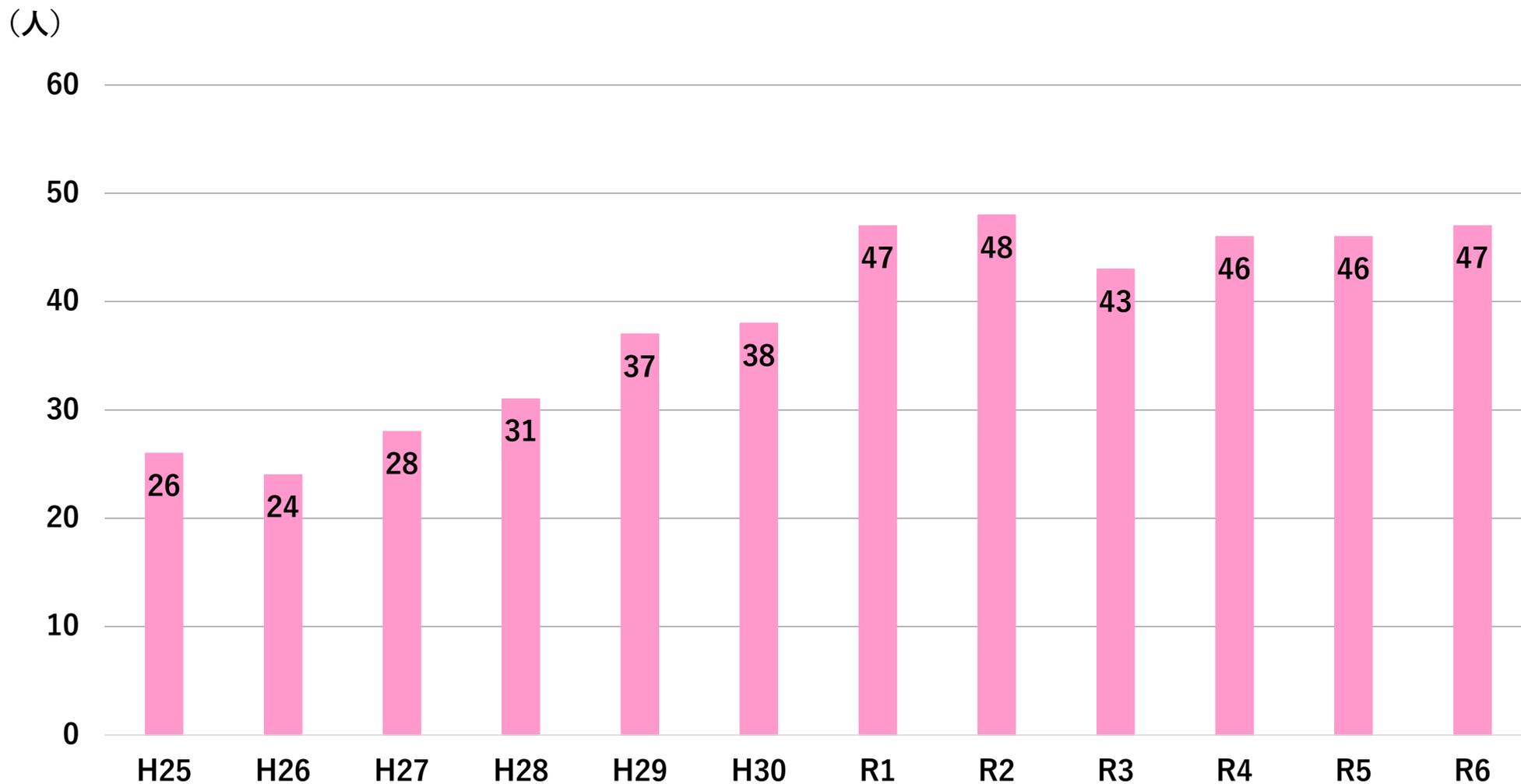
男性医師	取得人数 (延べ)	取得日数/ 1人あたり (日)	取得月数/ 1人あたり (カ月)
臨床医学教育部門			
呼吸器内科学	2	193	6.3
放射線診断・IVR学	3	31	1.0
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2	5	0.2
糖尿病・内分泌内科学	1	126	4.1
脳神経外科学	1	65	2.1
整形外科	1	34	1.1
脳神経内科学	1	24	0.8
臨床研修センター	1	18	0.6
感染症内科学	1	13	0.4
総合医療学	1	12	0.4
産婦人科学	1	10	0.3
精神医学	1	5	0.2
血液内科学	1	4	0.1
救急医学	1	2	0.1
総計	18	45	1.5

奈良県立医科大学 常勤女性医師数(週5日勤務)の推移

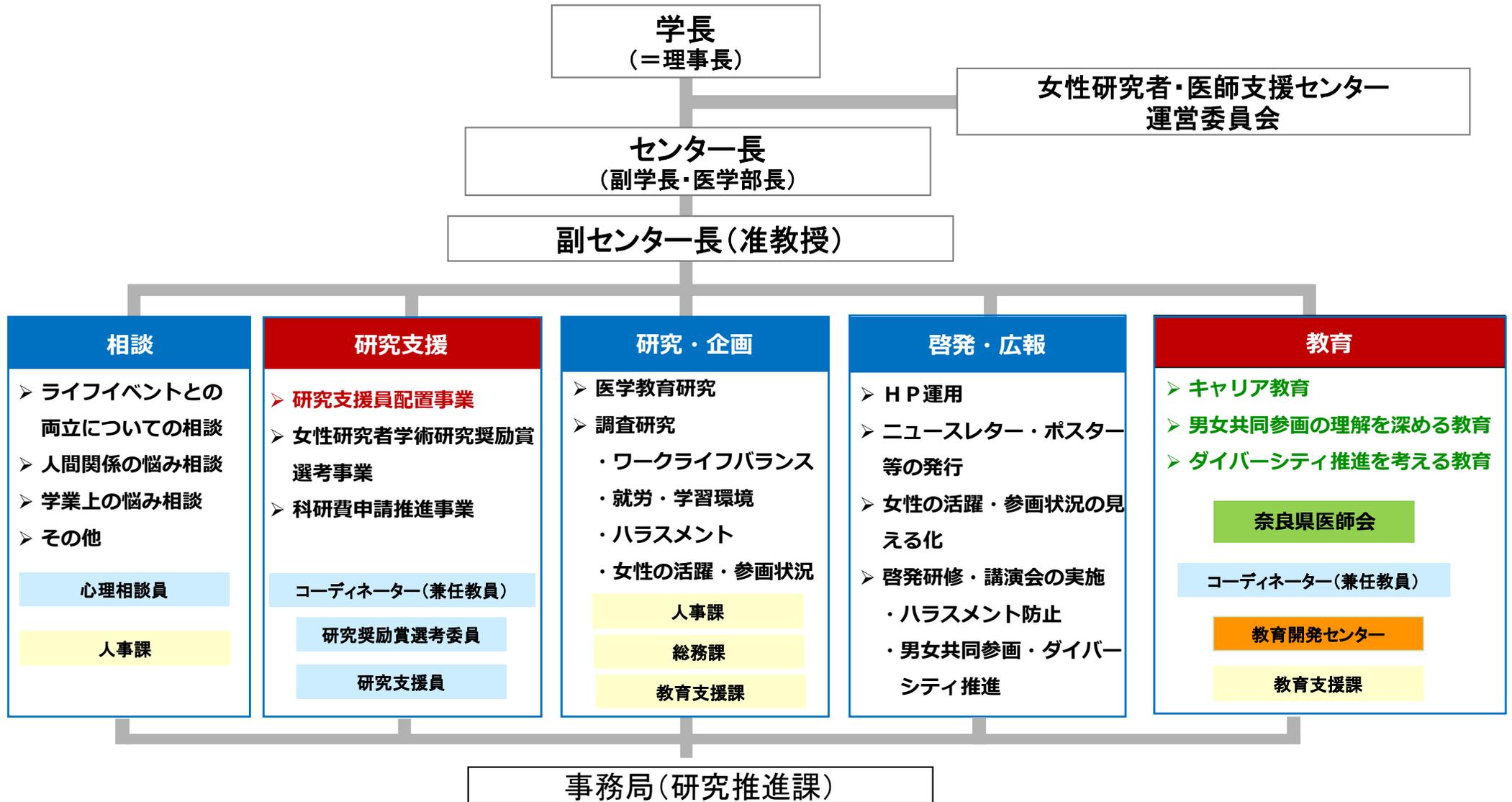
※臨床研修医を除く



奈良県立医科大学臨床系女性教員数の推移



奈良県立医科大学 女性研究者・医師支援センター 実施体制



奈良県立医科大学医学科におけるキャリア教育/
男女共同参画の理解を深める教育/ダイバーシティ推進を考える教育

良き医療人育成プログラム(6年一貫教育授業科目) 令和6年度

• 1年生(必修) **次世代医療人育成論**

「奈良県の男女共同参画」 奈良県子ども・女性課課長の講演
奈良県医師会は奈良県男女共同参画推進サポーターに参加

• 2年生(必修) **ロールモデルを探す**

平成28年度以降、奈良県医師会会長、奈良県医師会理事、奈良県医師会
所属男女医師が講演

「医師会の役割について」 奈良県医師会理事 樋上謙士 先生

「医師の多様性」 山内醫院 院長 山内 優美 先生

• 3年生(必修) **私のキャリアパスⅠ**

• 5年生(必修) **私のキャリアパスⅡ**

樋上謙士理事 講演と小テスト 一部抜粋 (令和6年5月17日実施)

女性医師バンクについて

- ☆ 平成19年1月30日開設の職業紹介事業
- ☆ 求人・求職 紹介から成立まで利用料はすべて無料
- ☆ 女性・男性問わずすべての医師が利用可能
- ☆ 医師会員・非会員問わず利用可能
- ☆ 日本全国、専任コーディネーターによるマッチング

日本医師会女性医師バンク

検索



日本医師会作成資料

まとめ

- 医師会の役割は国民の生命と健康を守ること
- 医師会の役割は医師の医療活動を支えること
- 医学は科学、医療は制度

- ① 医師会の医療活動として正しいのはどれか⇐
 - a: 休日夜間急患センターへの出務⇐
 - b: 地域行事の救護班⇐
 - c: 電話相談業務⇐
 - d: 災害時の救護所・避難所への巡回診療⇐
 - e: 感染症拡大時の検査センターへの出務⇐
- ② 医師会の公益活動として正しいのはどれか⇐
 - a: 警察業務への協力⇐
 - b: 防災会議⇐
 - c: 地域医療に関する会議⇐
 - d: 障害者認定審査会⇐
 - e: 介護保険認定審査会⇐
- ③ 医師会の地域保健・公衆衛生活動として正しいのはどれか⇐
 - a: 母子保健⇐
 - b: 1歳6か月児健診⇐
 - c: 学校健診⇐
 - d: 特定健診⇐
 - e: 予防接種⇐
- ④ 医師会の活動として正しいのはどれか⇐
 - a: 問題がある医師には厳しく対応する⇐
 - b: 女性医師の就業率が最低になるのは医籍登録後12年である⇐
 - c: 日本医師会女性医師バンクには医師会員のみが登録できる⇐
 - d: 同女性医師バンクには女性医師のみが登録できる⇐
 - e: 同女性医師バンクでは契約成立時に費用が発生する⇐
- ⑤ 日本の医療制度として正しいのはどれか⇐
 - a: すべての国民が、公的医療保険に加入する国民皆保険である⇐
 - b: どの医療機関にも自由に受診できる⇐
 - c: 教授と研修医では診療報酬が異なる⇐
 - d: 東京都と奈良県では診療報酬が異なる⇐
 - e: 職員の給与を増額するために個々の医療機関は値上げできる⇐

山内優美院長 講演とグループワーク

一部抜粋 (令和6年5月17日実施)

医師会活動

- 日本医師会
- 奈良県医師会
- 地区医師会 (生駒地区医師会)
- 町医師会 (斑鳩町安堵町医師会)
- 西和7町広域医師会



- 面倒見の良い小児科・・・人とのつながりを大事に！
- 神の手の外科医・・・圧倒的技術！
- 常に冷静な救急医・・・感傷的にならない！
- 子供心を忘れない研究医・・・好奇心追及！
- コミュニケーションが積極的な医療者・・・多職種連携！
- 留年させない大学教授・・・学生の学習意欲の向上！
- 患者、地域社会に真摯に向き合う開業医・・・人々の社会、文化的背景を考慮！
- 楽しく仕事ができる勤務医・・・ワークライフバランスを大事に！
- 信頼される内科医・・・患者を安心させる！



医学科2年生によるグループワークの一例



臨床医(心理的配慮)

- 嫌な顔をしない内科医
- 親切的な小児科医
- 魅力的な小児科医
- 患者さんに寄り添える臨床内科医
- 患者さんを安心させることのできる医師

臨床医(その他)

- 同僚から信頼される心療内科医

臨床医(技術レベル)

- 失敗しない外科医
- 全知全能の救急救命医
- 学び続けるエリート医師

研究医

- 異分野融合した手法を駆使した小児がん研究医

グループワーク課題

課題 各自がなりたい医師像を表現してください

例) ○○○○な□□□□

○○○○ 神の手、赤ひげ、ブラックジャックのように や

信頼される、面倒見のいい、断らない など**抽象的に**

□□□□ 救命救急医、脳神経外科医、腫瘍内科医、など**具体的に**

政治家、実業家、動画配信インフルエンサー、などもOK

令和6年度奈良県立医科大学次世代医療人育成論授業前アンケート 「ジェンダーギャップのない社会づくりに関する意識調査」

医学科1年生対象、有効回答率 38.7% (111人中43人回答)

男子学生43.3% (67人中29人回答)、女子学生31.8% (44人中14人回答)

1. 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」のための優先度についてあなたの希望に最も近いものはどれですか

分類	女性 n=14	男性 n=29	総計 n=43
1. 「仕事」を優先したい	0.0%	10.3%	7.0%
2. 「家庭生活」を優先したい	0.0%	13.8%	9.3%
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	7.1%	6.9%	7.0%
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	50.0%	20.7%	30.2%
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	7.1%	3.4%	4.7%
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	7.1%	24.1%	18.6%
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	28.6%	20.7%	23.3%

2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか(固定的性別役割分担意識について)

分類	1.賛成	2.どちらかといえば賛成	3.どちらかといえば反対	4.反対
女性 n=14	0.0%	14.3%	35.7%	50.0%
	14.3%		85.7%	
男性 n=29	3.4%	31.0%	27.6%	37.9%
	34.4%		65.5%	
総計 n=43	2.3%	25.6%	30.2%	41.9%
	27.9%		72.1%	

理由	女性	男性
1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	0%	12.5%
2. 自分の両親も役割分担をしていたから	0%	6.3%
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	0%	18.8%
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	0%	25.0%
5. 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	0%	37.5%
(自由意見)自分は将来、夫よりも子どもと長くふれあっていたいと思うから(女性)		
(自由意見)役割を分担した方が効率的だから(男性)		
(自由意見)授乳期に母親がそばにいない家庭をいいと思ったことはないから(女性)		
(自由意見)女性しか子どもを産めないから(男性)		

理由	女性	男性
1. 男女平等に反すると思うから	22.2%	20.5%
2. 自分の両親もともに家事・仕事をしていたか	14.8%	2.6%
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	3.7%	15.4%
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	0.0%	10.3%
5. 夫婦で育児・介護・家事を行うことで妻が働き続けることは可能だと思うから	22.2%	12.8%
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	39.3%	38.5%
(自由意見)各夫妻の意思・考えに合わせた役割分担の実現が良いと考えるから(女性)		
(自由意見)そもそも人として性別に関わらず自由に生きるべきなので(男性)		

3. 職場や学校、家庭などの場で「男だから」、「女だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じることはありますか

分類	あまり感じない	感じない	強く感じる	少し感じる
女性 n=14	50.0%	7.1%	0.0%	42.9%
男性 n=29	27.6%	24.1%	0.0%	48.2%
総計 n=43	34.9%	18.6%	0.0%	46.5%

項目	女性	男性
1. 男性が弱音を吐いたり、悩みを打ち明けることは恥ずかしいという考え	0.0%	8.3%
2. 男性は育児休業・育児休暇を取得しにくい	0.0%	10.4%
3. 男性は働きながらも、家庭(家事・育児)への積極的な関わりを求められる	0.0%	4.2%
4. 力仕事や危険な仕事は男の仕事という考え	0.0%	14.6%
5. デートで男性が多く負担したり女性をリードするべきという考え	5.9%	18.8%
6. 男性は定年までフルタイムで正社員で働くべきという考え;	0.0%	6.3%
7. 男性が育児に関わりにくい環境(男性用トイレにオムツ替えの台がない等)	0.0%	2.1%
8. 男性は結婚し家計を支えるのが当たり前という考え	0.0%	10.4%
9. 家事、育児、介護は女性がするものだという考え	11.8%	6.3%
10. お茶出しや掃除などは女性がするものだという考え;	17.6%	4.2%
11. 女性は優しい、可愛い、気が利くという考え	11.8%	2.1%
12. 女性は男性に従うのが良いという考え	17.6%	4.2%
13. 女性は仕事を任せてもらえない、決定権がないことが多い	11.8%	2.1%
14. 女性は結婚し家事・子育てに専念するのが当たり前という考え	17.6%	6.3%
(自由意見)着替えやトイレが女性よりも隠されていないことがある(男性)		

4. 結婚についてマイナスイメージを持っていますか

分類		1. 持っている	2. どちらかといえば持っている	3. 持っていない	4. わからない (考えたことはない)
女性	n=14	0.0%	28.6%	64.3%	7.1%
男性	n=29	6.9%	17.2%	65.5%	10.3%
総計	n=43	4.7%	20.9%	65.1%	9.3%

令和6年度奈良県立医科大学1年生対象次世代医療人育成論授業前アンケート(医学科)

令和7年度は医学科5年生を対象にした「私のキャリアパスII(必修授業)」にて
キャリア形成に関する意識調査を奈良県立医科大学と連携して実施予定

“奈良県医師会では、今後も県内の医師や医学生、県民の皆さまに
役立つ女性医師支援活動を継続していきます”

奈良県医師会男女共同参画推進事業ワーキンググループ
鉄村信治 藤本清秀 増永博幸 山内優美 須崎康恵

